【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年7月2日(2024.7.2)

【国際公開番号】WO2022/054747
【出願番号】特願2021-555204(P2021-555204)
【国際特許分類】
C08L 63/00(2006.01)
C08J 5/04(2006.01)
C08G 59/18(2006.01)
【FI】
C08L 63/00 Z
C08J 5/04 CFC
C08G 59/18

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月24日(2024.6.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の成分（Ａ）～（Ｅ）を含むエポキシ樹脂組成物であって、エポキシ樹脂組成物を硬化温度で２時間加熱処理して得られる硬化物中の成分（Ｂ）の分散径が０．０１～５μｍであるエポキシ樹脂組成物。
成分（Ａ）：２５℃における粘度が０．１～１０００Ｐａ・ｓである１分子中にエポキシ基を２個以上有するエポキシ樹脂
成分（Ｂ）：２５℃における粘度が０．０１～２０Ｐａ・ｓである添加剤
成分（Ｃ）：硬化温度以下でエポキシ樹脂と増粘反応する化合物
成分（Ｄ）：エポキシ硬化剤
成分（Ｅ）：成分（Ａ）１００質量部に対し０．０１～５質量部である、チキソトロピー性を発現させる粒子
【請求項２】
レオメーターで２５℃から２００℃まで１０℃／ｍｉｎの昇温速度で昇温した際に、最も低いときの粘度が０．１～１００００Ｐａ・ｓである、請求項１に記載のエポキシ樹脂組成物。
【請求項３】
２５℃における粘度が０．１～１００Ｐａ・ｓである、請求項１または２に記載のエポキシ樹脂組成物。
【請求項４】
成分（Ａ）１００質量部に対し、成分（Ｂ）１質量部を２５℃で混合した混合物中での成分（Ｂ）の分散径が０．０１～５μｍである、請求項１～３のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。
【請求項５】
硬化温度で２時間加熱処理して得られる硬化物の表層部における成分（Ｂ）の真円度Ｒｓが１．００～１．５０である、請求項１～４のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。
【請求項６】
硬化温度で２時間加熱処理して得られる硬化物の中心部における成分（Ｂ）の真円度Ｒｃ

が１．００～１．５０であり、真円度ＲｓおよびＲｃからＲｒ＝Ｒｓ／Ｒｃにより算出される、ＲｃとＲｓとの比Ｒｒが０．５０～１．４０である、請求項５に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項７】

請求項１～６のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物および強化繊維からなる成形材料。

【請求項８】

強化繊維が炭素繊維である、請求項７に記載の成形材料。

【請求項９】

請求項７または８に記載の成形材料が成形されてなる、繊維強化複合材料。